

\*\*\*親子で納得

# ニュース 経済学



経済ジャーナリスト・内田裕子

「景気が悪くてね。大人の世界では今、こんな後ろ向きな言葉を使う人が多くなっています。今、どこの会社も調子が悪いので仕方ありませんが、こんな状態が長く続いたらちょっと困りますよね。

ところで、みんなが言っている「景気が悪い」とは、本当はどんなことなのでしょう。例えば、わたしの家の裏で、去年の秋ごろまで調子よく進んでいたマンションの建築工事が、今年に入ればたっと止まってしまいました。聞くと不動産会社が倒産したというのです。このような「不景気の風景」が今、あちこちで見られると思います。

でも、なぜ不動産会社は突然、倒産したのでしょうか。不動産会社というのは建てたマンション

## 不景気はお金のめぐりが悪いから

を売ったお金で、次のマンションの建築費をまかなうのですが、景気の見通しが悪くなって、マンションが売れなくなると、不動産会社にはお金が入ってこなくなります。そうすると建設をたのんでいる取引会社にお金を払えなくなります。足りない分は銀行から借りればよいのですが、今、銀行は自分たちの経営も危ないので、確実に回収できる仕事にしかお金を貸してくれません。不動産会社は必要なお金を用意することができなくなり、倒産となるのです。会社がもうかっていても、お金の流れが止まってしまうと、会社は簡単につぶれてしまうのです。

一つの会社がつぶれると、その会社と取引をしていた会社、さらにはその下請けの会社（ある会社がやっている仕事を引き受けるところ）にもお金が入ってこなくなります。

これこそが、今、起こっている「不景気」の正体なのです。血液がうまく体に循環しなければ人間も病気になってしまうように、お金が世の中に



循環しないと経済の調子もすぐに悪くなってしまいます。

「景気が悪い」というのは、「世の中にお金が入りまくっていない状態」のことを言うのです。

◇  
今回から、経済のしくみや話題になっているニュースを、やさしく解説していきます。

プロフィール 玉川大学芸術学部演劇専攻卒業後、大和証券に入社。2000年に財部誠一事務所に移籍。製造現場の取材や経営者のインタビューなどの仕事をこなす。テレビ出演、執筆、講演活動を通じて経済の情報を伝えている。

イラスト：よしとみあさみ